

決算説明会 資料

2008年度中期経営計画の 進捗状況と今後の展開

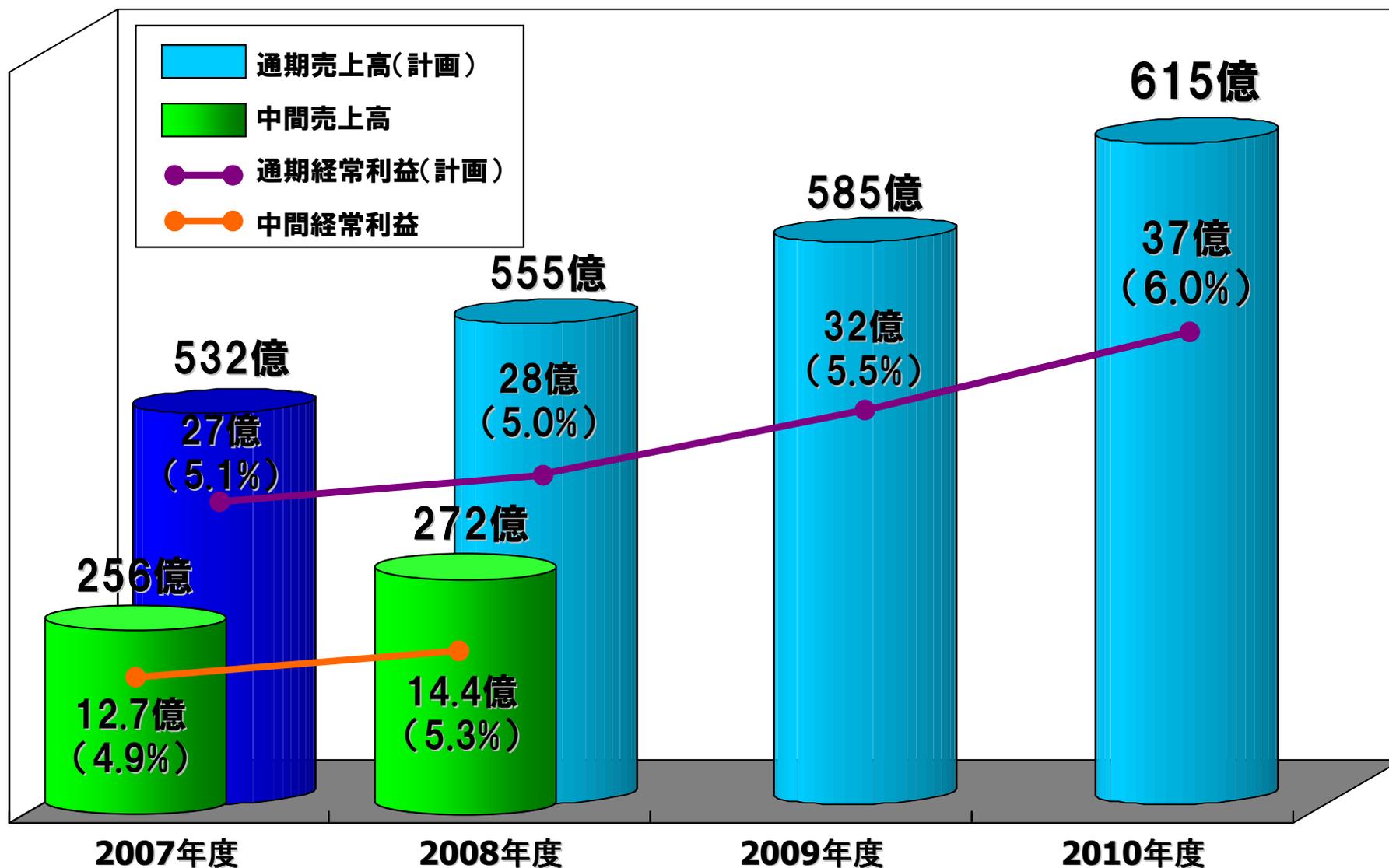
2008年9月25日

株式会社  Shi-e-shi

中期経営計画と進捗状況

■ 継続的かつ着実な成長

■ 売上と利益のバランスの取れた基盤づくり

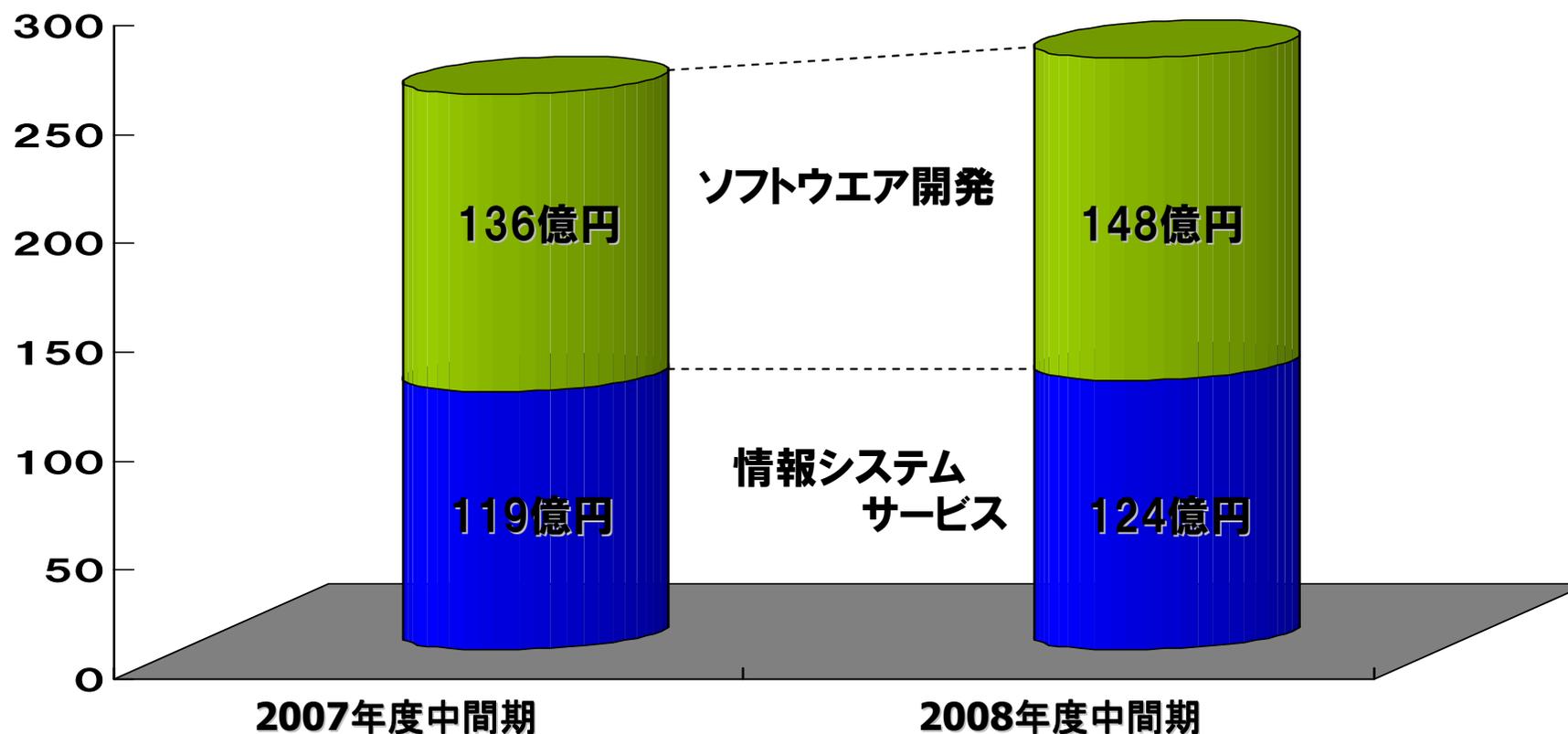


中期経営計画と進捗状況

■セグメント別売上高状況

◆売上高 272億47百万円(前年比 6.5% 16億55百万円増)

- ソフトウェア開発事業 11億87百万円増(8.7%増)
- 情報システムサービス事業 4億67百万円増(3.9%増)
- ※データエントリー事業収束 9億円減



■ 経常利益

◆ 経常利益 14.4億円(前年比 14.0% 1.7億円増)

➤ 売上総利益	3.5億円増
・売上高増加に伴う利益の増加	3.0億円
・不採算プロジェクト削減	1.5億円←2.0億円
➤ 販管費	2.2億円増
・販管費率 前年度横ばい	14.6%
➤ 営業外損益	0.4億円増
・持分法投資損失の減少	

中期経営計画と上期進捗状況

■ソフトウェア開発事業

	前中間期	中間期	通期
自動車 <ul style="list-style-type: none">● 生産物流、カーエレ分野の開拓堅調● 部品メーカー向け案件開拓	23億	26億	52億
製造 <ul style="list-style-type: none">● FA、制御システム開発が堅調	32億	36億	74億
金融 <ul style="list-style-type: none">● 信託系のシステム開発が堅調	23億	25億	50億
その他 <ul style="list-style-type: none">● 情報サービス分野が堅調	58億	61億	128億
ソフトウェア開発事業 計	136億	148億	304億

中期経営計画と上期進捗状況

■情報システムサービス事業

	前中間期	中間期	通期
プロフェッショナルサービス <ul style="list-style-type: none"> ● RaLC: 大手自動車会社を含む10数社が導入 ● WonderWeb: MS社との協業強化 ● EcoBino: 環境への関心が高まり引合拡大 ● PROVEQ: 業務システムを対象とした検証の本格化 	68億	80億	164億
アウトソーシングサービス <ul style="list-style-type: none"> ● IDC: ネット関連企業のビジネス拡大、 及び災害対策の需要拡大 ● 運用アウトソーシング: 内部統制強化に伴う ニーズが拡大 ● データエントリー事業の収束 	39億	31億	62億
パッケージ <ul style="list-style-type: none"> ● ソリューション: データを「護る」「繋ぐ」「活用する」 サービスの提供 	12億	12億	25億
情報システムサービス事業計	119億	124億	251億

ソリューション・サービス基盤強化

■既存事業

- 製造業向けソリューションの立上げ
製造業・自動車産業向けの業務知識、ノウハウ、IT技術の見える化を図り、サービスメニューを体系化
- 情報システムのライフサイクルをトータルに支援するソリューションの立上げ
システムの企画、構築、保守・運用を支援するサービスのメニュー化

■新規事業

- 中堅企業向けERPビジネスに本格参入
MS Dynamics AXとPCA Dream21をコアパッケージとして事業展開
- 第3者検証サービスPROVEQに新規サービスメニュー
8月より赤外線データ通信規格認定証付与サービス、
及びインターフェース互換性検証サービス開始
- 製造・物流現場の見える化を推進
RaLCを活用した「見える化」ソリューションの展開

人材基盤強化

■現場力の強化委員会活動による改革推進

- 現場部門主導の改革・改善活動によるCEC-SS再構築

顧客基盤強化

■アカウントプランの定着

- 既存のお客様の満足度向上を図り、同時に新規分野を開拓

1億円以上の取引先 08年中間期 44社 07年中間期 39社

事業運営強化

■プロジェクトマネジメント強化

- 不採算プロジェクトの削減 08年中間期 1.5億円 07年中間期 2.0億円

■内部統制の強化

- 内部統制 08年5月よりドライラン
- 基幹システムの再構築 08年12月稼動開始予定

データセンターの競争力強化

■08年度末より5拠点目のデータセンター稼動開始、
国内最高Tier4レベルの設備で大型アウトソーシング案件受注

- 取得概算額 設備投資総額 90億円
- 設置場所 神奈川県
- 総床面積 約10,000m²(データセンタースペース)
- サービス開始予定 2009年2月
- 設備概要 Tier4レベル※

※ データセンターの設備をその冗長構成の多寡で格付したもの。

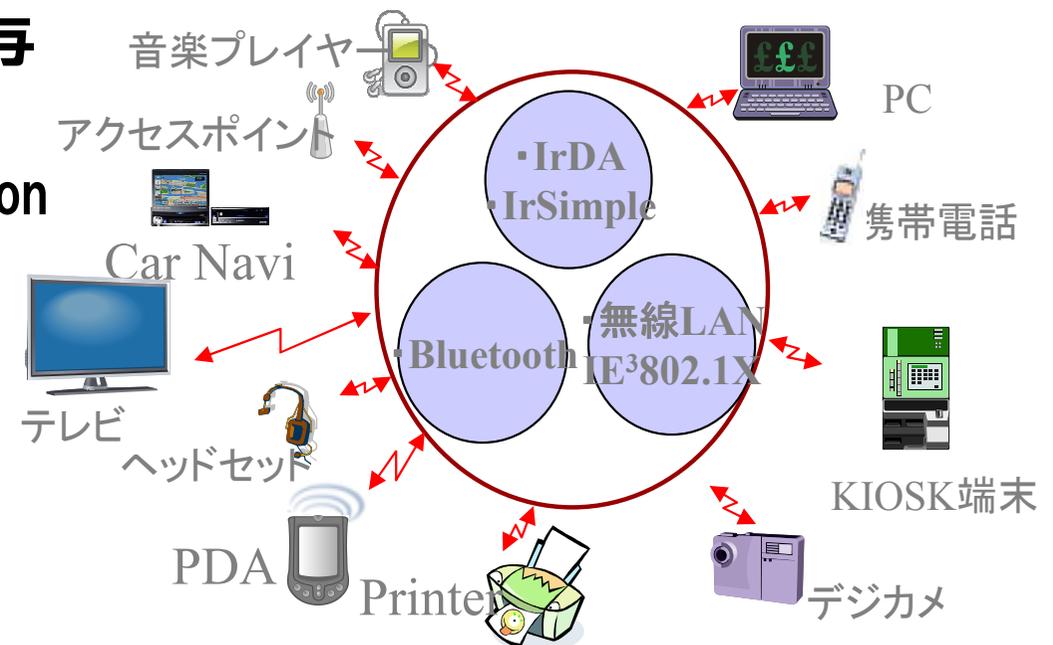
第3者検証サービス「PROVEQ」新規メニューを拡充

■新規に赤外線データ通信規格認定証付与サービスを開始、併せてインターフェース互換性検証サービスを展開

- 認証試験から互換性検証まで、通信に関するテストを一貫して実施することにより、お客様のテスト工程を包括的に効率化
- 国内唯一の赤外線データ通信規格(IrDA)認定証付与機関として、「IrReady」認定証付与



IrDA : Infrared Data Association
IrSimple : IrDAの高速仕様
IrFM : 電子決済仕様

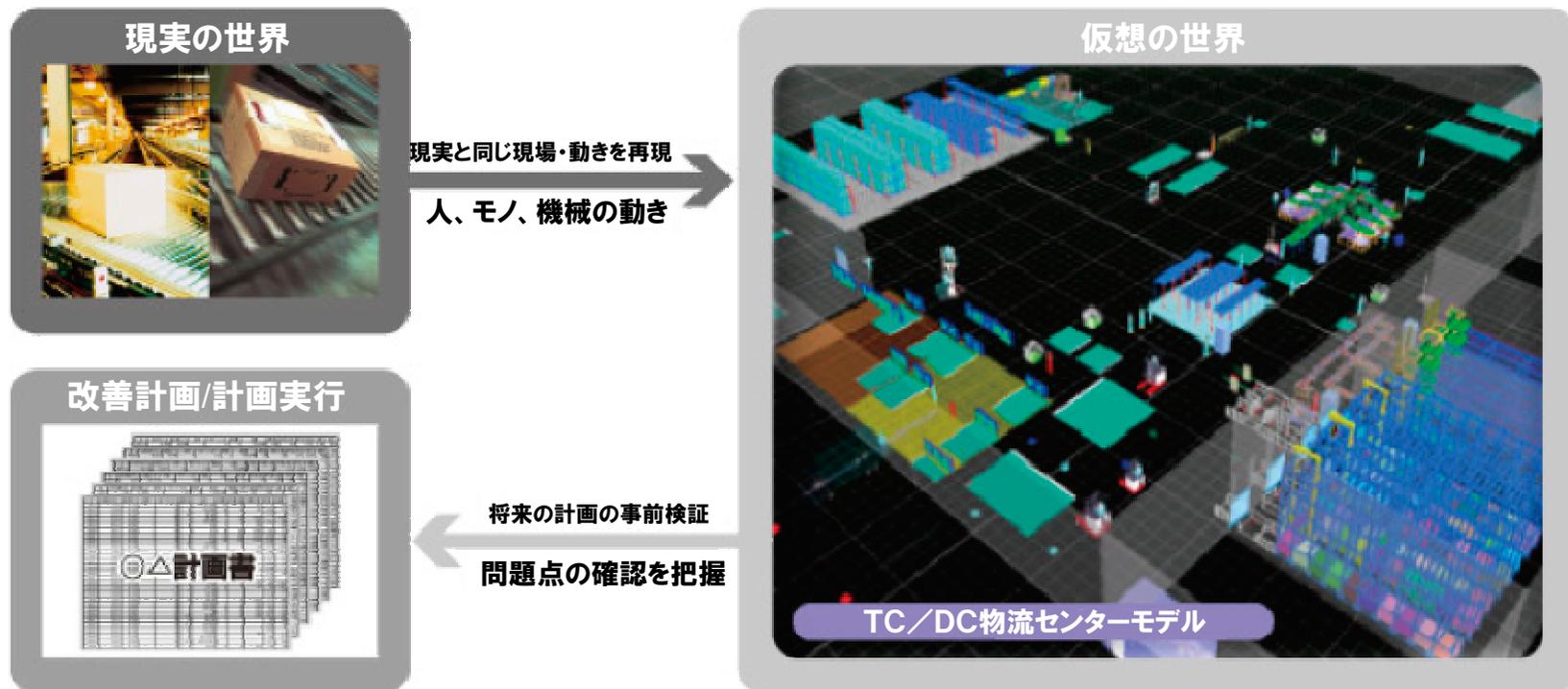


RaLCサービスメニューの整備と拡充

■ 現在と未来の製造・物流現場を仮想空間上でリアルに再現し、製造・物流現場の見える化や、物流センター・製造ラインの新設・再構築計画の事前検証を実現

製造・物流の現場をパソコンで**3Dモデル化**し、作業現場をリアルに再現

既存の物流倉庫、集配センター、製造工場、新規建設予定の施設など製造・物流現場をPC上でリアルに再現できます。





〔お問合せ先〕

株式会社シーイーシー

グループ事業統括部	03-5789-2442
事業推進部広報室	03-5789-2442

- 本資料は、投資を勧誘する事を目的として作成されたものではありません。
- また、本資料に記載しております将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、変動する可能性がある事をご承知おきください。